

BDSを展望する

市民社会は何ができるか

平和構築のために

フォーラム



ダニー ネフセタイ

「パレスチナ / イスラエルの現状」

2025.

1.12 (日)

13:30-17:20

ひと・まち交流館 京都 大会議室

京都府京都市下京区梅浜町 83-1

■定員 300 名

■参加費：一般 1000 円、学生 500 円 (資料代込み) 当日券は200円アップ

2023年10月以降のガザのジェノサイド (大量虐殺) は1年を超え、死者数は4.1万以上、その多くが女性や子どもです。市民運動として、イスラエルに対する製品購入のボイコット、投資引き上げなどを含む BDS 運動が世界的な高まりを見せていますが、日本ではまだ認知が高いとは言えず、またその効果や恒久的な平和構築のための可能性についての検討は不十分です。

本フォーラムはパレスチナ及びイスラエルの現状についての把握、米国で高まる BDS の推移と米国社会の変化、1960年代以降の南アフリカへのアパルトヘイト体制に対する国際的な BDS 運動の展開とその終焉、その後の南アフリカ情勢の変化について、講師を招聘して、その後パレスチナの恒久的な平和構築のために市民社会に何ができるのかディスカッションを行います。



津山 直子

「南アフリカにおける BDS の展開」



高橋 和夫

「アメリカとパレスチナ問題」



お申し込み方法は裏面へ



■プログラム■ 13:30 ~ 第1部：ダニー・ネフセタイ氏、津山直子氏
15:20 ~ 第2部：高橋和夫氏、パネルディスカッション (17:20 閉会)

■共催■NPO 法人 HCC グループ、パレスチナの平和を求める会・京都

■協賛■株式会社よつ葉ホームデリバリー、生活協同組合コープ自然派京都

■このフォーラムは一般社団法人 大竹財団の助成金を活用して開催されます

同時開催

ダニー ネフセタイ氏
高橋和夫氏

予約書籍サイン会

フォーラム参加者で著書を裏面の「お申し込みサイト」からご購入された方のみご参加いただけます。

登壇者プロフィール(登壇順)



ダニー ネフセタイ

元イスラエル軍兵士

1957年イスラエル生まれ。高校卒業後、徴兵制によるイスラエル軍入隊。空軍にて

3年間兵役を務める(レーダー部隊)。1979年退役後 アジアの旅に出る。日本各地をヒッチハイクなどで旅をし、交流を深める。日本語学校にて更に深く言葉を勉強しその後神奈川の家具会社に勤める。1988年東京より埼玉県皆野町金沢へ引っ越す。「木工房ナガリ家」を開設。現在は夫婦で注文家具、遊具、木工小物、社会性オブジェの創作活動。また「イスラエル軍元兵士が語る非戦論」「世界情勢から平和を考える」などをテーマに講演活動中。

著書に『国のために死ぬのはすばらしい?』—イスラエルからきたユダヤ人家具作家の平和論—(高文研 2016年12月8日)『イスラエル軍元兵士が語る非戦論』—「抑止力」という考えはもうやめよう—(集英社新書 2023年12月15日)など。



Facebook
ダニー ネフセタイ



津山 直子

アフリカ日本協議会 副代表

1960年名古屋生まれ。慶應大学文学部卒業。

1986年、留学したスウェーデンでアパルトヘイト撤廃の国際連帯運動に関わる。帰国後、1988年に南アフリカの民主化組織「アフリカ民族会議(ANC)」の駐日代表部の専従スタッフとなり、BDSや政治囚釈放キャンペーンなどを行う。1990年、ネルソン マンデラ氏が釈放され、来日。通訳を務める。1992年、日本国際ボランティアセンター(JVC)南アフリカ現地代表として赴任。2006年、ニューズウィーク誌の「世界が尊敬する日本人100人」の一人に選ばれる。2009年に帰国し、複数の大学で講師を務めながら、NPO法人アフリカ日本協議会(AJF)で、在日アフリカ人支援に関わる(2014-2021年はAJF代表理事)。現在は副代表として「アフリカンキッズクラブ」の活動など。南アフリカ生まれの娘は、東京のパレスチナ連帯グループで活動している。

1986年、留学したスウェーデンでアパルトヘイト撤廃の国際連帯運動に関わる。帰国後、1988年に南アフリカの民主化組織「アフリカ民族会議(ANC)」の駐日代表部の専従スタッフとなり、BDSや政治囚釈放キャンペーンなどを行う。1990年、ネルソン マンデラ氏が釈放され、来日。通訳を務める。1992年、日本国際ボランティアセンター(JVC)南アフリカ現地代表として赴任。2006年、ニューズウィーク誌の「世界が尊敬する日本人100人」の一人に選ばれる。2009年に帰国し、複数の大学で講師を務めながら、NPO法人アフリカ日本協議会(AJF)で、在日アフリカ人支援に関わる(2014-2021年はAJF代表理事)。現在は副代表として「アフリカンキッズクラブ」の活動など。南アフリカ生まれの娘は、東京のパレスチナ連帯グループで活動している。



NPO 法人アフリカ
日本協議会 (AJF)



高橋 和夫

放送大学名誉教授

福岡県北九州市生まれ。大阪外国語大学外国語学部ペルシア語科卒。コロンビア大学国際関係論修士。クウェート大学客員

研究員、放送大学教員などを経て2018年4月より、一般社団法人先端技術安全保障研究所会長。放送大学名誉教授。放送大学にて、テレビ『現代の国際政治』、『世界の中の日本外交』、ラジオ『国際理解のために』、NHKラジオ『マイ朝ラジオ』、TBSラジオ『荻上チキ・セッション』大阪ABCテレビ『正義のミカタ』出演中。『まなぶ「キャラバンサライ」』、『日本のうしろ 世界のうしろ』、『経済界「グローバルレポート / 中東」』連載中。

著作多数。パレスチナ関連の書籍として『なるほどそうだったのか! ハマスとガザ戦争』(幻冬舎、2024年4月8日発売)『なぜガザは戦場となるのか』(ワニブックス、2024年2月8日発売)など。



高橋 和夫
X (旧ツイッター)

会場アクセス



【バス】市バス4、7、205号系統

「河原町正面」下車

【電車】京阪「清水五条」下車 徒歩8分

地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

【駐車場】最初の1時間410円、以後30分ごとに200円
可能な限り公共交通機関でお越し下さい

チケット、サイン会付書籍申込方法

1. 右下の二次元コードより公式サイトにアクセスの上、フォーラムのチケットをお求めください。サイン会についてはフォーラムのチケットをお求めの上、書籍をご購入ください(購入できる著書は申し込みサイトよりご確認ください)

2. 大津市市民活動センターのカウンター

(月~土9時~19時)でもお取り扱いがございます。



フォーラムチケット、
書籍予約申込サイト

お問い合わせ

NPO 法人 HCC グループ

TEL:077-527-8661

(月~土9時~19時)

パレスチナの平和を求める会・京都

携帯:090-4643-2940(増野)

(月~土9時~19時)